

議会報告会 町・議会に対する意見・要望等に対する回答

【議会報告会の開催について】

(日時) 令和4年1月21日(金) 午後7時～午後8時30分
(場所) ①総合町民センター ②ふるさと交流センター
③はまかぜ交流センター ④里山文化交流センター
(内容) ・議会の活性化について(議員定数・報酬・通年議会など)
・地域の課題に関すること

1 議員の定数に規定はないのか。議員定数を減らすと各種委員会でも十分な幅広い議論ができないのではないかと不安に思う。活動が増えている中で、報酬を上げるために議員定数を減らす必要はないのではないか。

【回答】自治体議員の定数は条例によって定めることとなっています。以前は人口区分に応じて上限が定められていましたが、法改正によって各議会で適正な議員定数を定めることとなり、現在おおい町議会では14名としています。

また、全国町村議会議長会の「常任委員会あたりの討議できる人数として少なくとも7、8人を基準とする」という考え方で、各常任委員会の構成を7人以上に改正しています。開かれた議会、分かり易い活動を目指してさまざまな取り組みを行っていく中で、併せて適正な定数や報酬の検討を行っております。

2 おおい町は合併した町なので、議員定数は人口比のみで判断出来ず、他の町に合わせる必要はない。予算規模も大きいため、現状で良いと思う。

また、広く意見を取り入れる意味で、現状必要な人員であり、定数を少なくすれば、若い人が出馬するチャンスが減るのではないか。

【回答】議員のなり手不足や、若者世代を含む多様な人材の確保などが課題とされている議員定数について、今回初めて議題としましたので、皆様から頂いたご意見も参考に、当町の人口規模も踏まえ、適正な定数について慎重に協議していきたいと考えております。

3 報酬について、理解はするが、町民の理解が必要。通年議会を導入して議会が活発化し、町民の有益になるのであれば、報酬を上げて職業議員として年間を通じて活動してほしい。

【回答】おおい町議会では、「活発な議会活動が町民の有益に繋がる」という考えを基に議会改革を行っています。その1つである通年議会の導入や、議員定数・報酬の検討を進めることは、議会のあり方を考えることでもあります。

皆様から頂いたご意見を基に慎重に協議し、最適な判断と検討結果を提示させていただきます。

4 議員は現在の報酬額を、どう判断しているのか。

議会を活性化させることは良いと思うが、活動が増えることにより、政務活動費はどうするのか。

【回答】議員報酬は平成18年合併時以前から23万5千円で、過去には議員年金がありましたが平成23年に廃止されています。

議員報酬の決め方として、何を根拠に考えるのか非常に難しい点があり、おおい町議会では、全国町村議長の「議員報酬のあり方検討委員会」で示されている、議員の活動量と町長の活動量の比較による原価方式を取り入れ積算を行っております。

政務活動費については、慎重に協議検討した結果、導入を見送る判断をしています。皆様のご意見もお聞きし最適な数字を導き出したいと考えております。

5 町民からすると、年間を通じて活動をしてほしいので通年議会は良いと思うが、説明を聞くとメリットしかないように感じるが、拘束が多すぎないのか。通年議会のメリットとデメリットは。

【回答】通年議会は、1年を通じて会期中となります。

- (メリット)
- ・至急の案件や、災害時などの突発的案件へ迅速に対応できる
 - ・議案提出など提出時期制限撤廃⇒柔軟な対応、契約等の早期議決が可能となる
 - ・委員会の活動期間制約撤廃⇒委員会活動が活発化できる
- (デメリット)
- ・活動時間の増加⇒執行部を拘束する時間が増加する可能性

おおい町議会では通年議会について5年前から研究し協議の結果、議会活動を町の政策へ反映させ、町民の利益につなげることを目的として、導入することを決定しました。現在、R4年度から試行的に取り組むため、理事者と協議を行っております。

6 町民に開かれた議会に向けた活動が年々活発化しているように思う。議会改革は大きなテーマであり、非常に重要なことだと思うので、多くの住民の意見を取り入れることが大事であるし、またその機会を作っていくことも必要だと思う。今回の内容は議会報告会としているが、単なる報告ではなく語る会として実施されるべきである。

また、地元の議員が出席するべきと考える。

【回答】名称は「議会報告会」としていますが、議会としては意見交換を主にした内容の「語る会」と位置づけており、時期や時間方法について毎回試行錯誤を重ねています。さらに参加しやすい意見交換の場となるよう工夫をしていきます。

出席議員については、各地域の地元議員の配置もしながら、まんべんなく各所に向き、おおい町の議員として対応することも重要と考えております。

7 委員会や議会の日程など、広報が不足しているのではないか。ケーブルテレビで一般質問の放映をしているが、時間に縛られずに自由に見られるよう、インターネット配信も考えてはどうか。

また、全国の先進地視察等は、報告をしっかりと行い、良い政策の応用ができるよう努めて欲しい。

【回答】議会日程の広報については、広報誌、ホームページ、ケーブルテレビ、町内放送、一般質問ポスター掲示などを行っておりますが、今後更にあらゆる方法を検討していきます。

定例会一般質問については、当日のケーブルテレビ生放送に加え、土日に日中と夜間に時間を変えて再放送を行っており、図書館でDVDの貸出を開始しました。

インターネット配信については今後の検討課題とさせていただきます。

8 生徒用タブレットが整備され、学校と家庭学習を繋ぐものだが、家庭学習の連絡時に子どもが不在だった等、うまく運用されていないとの話を聞く。タブレットを整備して終わりではなく、運用についても議会としてチェックをするべきである。

【回答】コロナ感染による臨時休校などで、オンラインによる個別学習の対応や授業風景の配信を行っていますが、家庭に持ち帰り活用することについては様々な課題も見えてきています。家庭でタブレットを活用したオンライン学習が効果的に実施できるように、議会としてもタブレットの運用状況を確認していきます。

9 新たな合宿所整備計画が進められているが、これまでのスポーツロッジ栄光は取り壊すのか。

【回答】新たな合宿所の建設後、現在のスポーツロッジ栄光は取り壊す方向で、跡地の活用も含めて今後検討を行います。

10 コンサルタントが作った防災マップは本当に地元の事情が分かってできているのか。自主防災組織の無い地域は不安がある。また、災害時の情報収集手段として、ラジオが受信できない場所があり、受信できるようにしてほしい。

【回答】町では令和3年3月に各ご家庭に改定後の洪水土砂災害ハザードマップを配布するとともに、地域の状況に応じた集落ごとの自主防災マップを作成し活用していただくための研修会を開催しています。それぞれの集落固有の危険個所を把握した上での避難ルートの確認や避難方法の検討を進め、集落内で情報共有をされているところもあります。町では防災専門員を置き、自主防災組織づくりへのサポートなども行っています。

おおい町のような地形や地理的な条件では、ラジオの受信環境の改善が難しい場所もあります。現在、Wi-Fi や3G回線を通じスマートフォンでラジオを視聴できるアプリ「ラジコ」のサービスが提供されており、ラジオ放送局のホームページ上で利用することができます。

11 大飯地域ではデマンドバスの運行が始まりありがたく思っている。利用状況と、運行するための町の予算はどれ位か。デマンドバスの終了時間を午後6時頃まで延長できないか。

【回答】デマンドバスの利用状況は、令和4年2月末で、登録者数：370人、実利用者数：56人、延運行回数：2,855回となっています。
令和3年度当初予算では、デマンドバスに係る事業予算は3,751万1千円です。
デマンドバスの時間の延長については、課題として捉え、利用状況やニーズを調査していきます。

12 名田庄地域の交通体系の整備を実施してほしい。

【回答】デマンド型交通による大飯地域と同様のサービス提供できるように、現在検討しています。

13 佐分利川河口の幅員が狭まっており災害の心配がある。県に対して浚渫の要望をお願いしたい。

【回答】県に要請し定期的に浚渫を行っています。潮の流れもあり、根本的対策についても要請しています。

14 佐分利川水位計が一部破損している。また、どこからでも見えるよう県に要請してほしい。

【回答】県の水位計はみのりの橋に移設されていて稼働しています。なお、本郷橋の簡易水位計は1.89mを超えれば測定値が、県の河川砂防総合情報に表示されます。
また、目視により確認ができるメジャーは従前より設置されています。

15 県道岡田深谷線はいつ頃できるのか。

【回答】3ルートの内から1ルート(L=12.0km)に決定され、現在は詳細設計の調査を実施中です。完成年度については、現時点では不明です。

**16 チャレンジショップ棟は、随分複雑な建物となっているが、なぜあのような難しくお金もかかる建物にしたのか。
設計業者はどこか、どのように決定したのか。**

【回答】チャレンジショップ棟の設計は、優れた設計者を選定するため、設計プロポーザル審査委員会を開催し、9社から提案書を受け令和元年9月のヒアリングの結果委員会において、最優秀者の株式会社森下建築総研に決定されたものです。

17 商工会館テナント棟建設工事への補助金 4 億円は額が大きい。商工会の自己負担となる額も大きいと思うが大丈夫なのか。

【回答】従前と同じ補助率 75%で、補助をしたものです。商工会の自己負担については、商工会理事会で検討された結果です。

18 個人で農業をしているが、農機具代が非常に負担になり継続が難しくなっていくため、農機具購入の補助金が出るようにならないか。

【回答】町では、個人に対する農機具購入支援策について可能性調査を実施しましたが、希望される方が 2 割にも達せず、家計費補助となることから見送ることとなりました。ただし、農地の集約化を進めることによる営農継続支援として認定農業者や集落営農組織に対する農機具購入を補助する「農業活性化支援事業」の補助率を 1/2 となるよう令和 2 年度から見直しております。

19 急傾斜地崩壊対策工事の場所の選定については、どのように行われているのか。

【回答】県事業の採択基準では、斜面傾斜角度が 30 度以上かつ 10m 以上の斜面が人家に隣接しており、被害が想定される人家が 10 戸以上ある区域とされています。町では計画的に危険な個所を優先的に選定し、県に要望を行っています。

**20 1. 県道や町道、河川の法面の整備や管理が行き届いていない、要望しても実施されない。
2. 県道、町道、林道を整備した後の補修を、しっかりと実施してもらいたい。**

【回答】順次計画的に整備を行っています。
また、水害時のような災害での修繕は、国・県への申請を行い修繕工事が行えるようにしています。

21 水田等の多面的機能支払い事業があるが、住宅から山林までの間の、里山整備の整備事業を作ってほしい。

【回答】森林環境譲与税を利用して、計画的に各地区の背後地にある人工林を対象にした森林整備を順次行っています。

22 決算で監査委員の指摘に、今後自主財源の減少と公共施設の維持補修費の増大等を懸念する記述がある。どのように考えているのか。

【回答】令和2年度決算審査意見書に基づきまして、議会としては新たな財源等を確保するために国などの関係機関への要望活動を強化し、公共施設等総合管理計画に基づいた生活インフラ設備の総合的なマネジメントが確実に実行されるのか監視をしていきます。また、各種事業等の予算においては適切に計上されているかの判断を行い、議会としてのチェック機能を果たしていきます。

23 原子力災害制圧道路としての第2青戸大橋を要請する。

【回答】原子力災害時に、現在の青戸の大橋で「制圧と避難を同時に行うことは難しい」という観点から、議会と町が連携して、国や県、関係部署に対し、新たな第2青戸大橋の必要性和要望活動を行っています。今後も、防災・国土強靱化の観点からも解決の方法を探り、根気強く要請活動を行っていきます。

24 新たに、UPZ30 扣圏内の住民へ安定ヨウ素剤事前配布が行われることについて、議会も尽力頂いたと思うが、子どもの対象年齢を制限せず、全町民に事前配布出来るように働きかけてもらいたい。

【回答】事前配布の希望がある一方で、薬剤の配布には慎重な意見もあります。UPZ 区域の事前配布希望者への配布、安全性を考慮した薬局配布の仕組みなどを国や県に要望を重ねてきました。今回、県の新規事業として嶺南4市町で先行されるもので、詳細については今後示され、実施される中で効果的な方法を検討し要望していきます。

25 大飯発電所1・2号機が廃炉となり、今まで定期検査で来ていた人が減り、地元の民宿に大きな打撃が出ている。地元経済を守るため、これからはリプレースや新增設のことを真剣に検討していく必要があるが、議会はどのように考えているのか。

26 廃炉問題をどうするのか。リプレースをどうするのか。国の明確な姿勢を示して欲しい。

【回答】議会では発電所の安全対策に関する監視や情報の収集の他に、多様なエネルギーに関する情報、次世代原子炉などについての勉強会や、使用済み燃料の乾式貯蔵についての視察研修を行い見識を深めています。

リプレースや新增設については、国のエネルギー政策によって示されなければなりません。現在のエネルギー基本計画には明確な方向性が示されなかったため、先行きが不透明なことは、立地地域に大きな不安を与え、地元経済への悪影響となっています。

議会としては、国や県に対して方向性の明確化を求め要望活動を行っておりますが、今後も町と連携し、さらに、広域の協議会や全国立地議会等とも協力しながら、あらゆる手段で要望を行っていきます。

**27 広域ごみ処理施設は高浜町だが、ゴミは有料になるのか。
また、斎場はどうするのか。**

【回答】高浜町に建設中の広域ゴミ処理施設は、小浜市、若狭町、おおい町、高浜町の共同利用となるため、運営や料金体系について協議中です。
斎場の建設については、小浜市、おおい町、高浜町の共同設置に向けて、場所の選定等の協議中です。尚、申し合わせにより、選定場所は小浜市とおおい町で協議されます。

※回答内容については、令和4年3月末現在のものです。